

# 養育費等に関する申告書

(表面)

※ 市区町村名 \_\_\_\_\_

※ 受付年月日 令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

○ 前年(1月から12月までの1年間)に受け取った養育費について、裏面の記入要領に従い、受け取った月ごとに記入して下さい。

養育費を支払った者 _____			
受取人		母又は父 ・ 児童	
離婚した年月日など		_____ 年 _____ 月 _____ 日	
養育費として受け取った額(令和 _____ 年分)			
1月	円	7月	円
2月	円	8月	円
3月	円	9月	円
4月	円	10月	円
5月	円	11月	円
6月	円	12月	円
小計			円
養育費を支払った者 _____			
受取人		母又は父 ・ 児童	
離婚した年月日など		_____ 年 _____ 月 _____ 日	
養育費として受け取った額(令和 _____ 年分)			
1月	円	7月	円
2月	円	8月	円
3月	円	9月	円
4月	円	10月	円
5月	円	11月	円
6月	円	12月	円
小計			円
合計	母又は父	円	
	児童	円	
上記のとおり相違ありません。			
令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日			
氏 名 _____			

- (注) 1 認定請求の際に本申告書を提出する場合において、前年(1月から9月までの間に請求する者にあつては、前々年とする。)中に支給要件に該当するに至った場合は、その支給要件に該当するに至った日以降に受け取った額を記入して下さい。  
2 上記の※の欄は、市区町村担当者が記入するので、記入する必要がありません。

(裏面)  
養育費等に関する申告書の記入要領

1 この申告書の目的・趣旨

- ・ この申告書は、前年に前夫又は前妻から養育費を受け取っているかどうか、さらに受け取っている額を確認するためのものです。

2 養育費について

- ・ 前夫(児童扶養手当の支給対象となっている児童の父。以下同じ。)又は前妻(児童扶養手当の支給対象となっている児童の母。以下同じ。)から前年(1月から12月までの1年間をいいます。ただし、1月から9月までの間に請求する人の場合には、前々年をいいます。)に、受給者(母若しくは父)又は児童が受け取った金品その他の経済的利益(以下「養育費」といいます。)がある場合には、その額を記入して下さい。
- ・ 養育費は、児童扶養手当法施行令第3条により、児童扶養手当制度における所得となりますので、正確に申告して下さい。
- ・ 養育費の合計額の欄に記入した額を、認定請求書の⑳の欄、所得状況届の㉑の欄又は現況届㉒の欄に記載して下さい。
- ・ 養育費として含まれるのは、具体的には別紙で定めるものです。
- ・ 前夫又は前妻が複数あり、それぞれから養育費を受け取った場合には分けて記入し、「養育費を支払った者」欄にその者の名前等を記入して下さい。前夫又は前妻が1人の場合には、「養育費を支払った者」欄は空欄で結構です。
- ・ 「離婚した年月日」欄には、「養育費を支払った者」欄に記載した前夫又は前妻等と離婚した年月日等、支給要件に該当するに至った年月日を記載して下さい。
- ・ 次の例を参考に記入して下さい。

養育費を支払った者	〇〇〇〇		
受取人	母又は父 ・ 児童		
離婚した年月日など	平成 29 年 5 月 1 日		
養育費として受け取った額(平成29年分)			
1月	円	7月	10,000 円
2月	円	8月	10,000 円
3月	円	9月	30,000 円
4月	円	10月	10,000 円
5月	10,000 円	11月	10,000 円
6月	10,000 円	12月	10,000 円
		小計	100,000 円
		合計	母又は父 0円
			児童 100,000円
上記のとおり相違ありません。			
令和 元 年 10 月 1 日			
氏 名 〇〇〇〇			